

1 調査経過

法相宗大本山薬師寺では、2011年から始まった薬師寺旧境内保存整備計画にもとづいて、食堂再建事業をすすめている。今回の調査はその一環で、基壇や建物の正確な規模や位置、基壇外装の様相など、食堂の全容を解明すべく食堂全体を発掘調査対象とした。

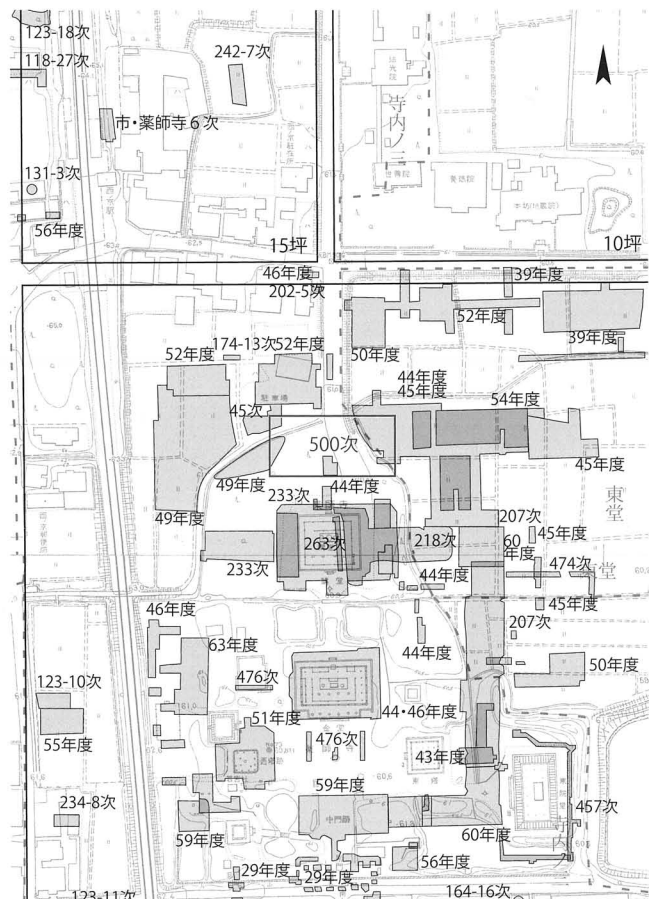
食堂は、薬師寺と近畿大学が中心となり結成された薬師寺伽藍発掘調査団や奈良文化財研究所によって1969～1974年の4回にわたって、部分的な発掘調査がおこなわれ、基壇外装や雨落溝、石敷等が確認されている。本調査ではこれらの成果をふまえ、食堂の遺構を全面的に確認できるように調査区の設定をおこなった。調査区は、東西50m、南北27mで、調査面積は1350㎡である。過去の調査区と一部重複する箇所があるため、新規発掘部分は約950㎡となる。なお、土置場の関係から東と西に分けて調査をおこなった。

調査に際し、事前に食堂跡に植えられていた樹木の伐採・伐根をおこなった。なお、食堂の周囲には防災用の管や電気・水道等の配管、あるいは現代の暗渠が埋設されていたため、調査区の縁辺部では一部遺構面まで掘削できなかった部分がある。

今回の調査では、食堂の建物および基壇の規模がほぼ確定し、基壇築成の工程や基壇外装の様相、造営や廃絶に関する年代の手がかりなど、食堂に関するさまざまな知見を得ることができた。また、食堂造営以前の薬師寺に関わる遺構も確認した。

第1表 調査経過

9月20日	調査区設定。
9月24日	調査開始。調査区東辺より重機掘削。
10月5日	食堂SB3050東北隅の壺地葉を検出。
10月29日	中央階段SX3040を再検出。
11月2日	基壇南面の地覆石SX3035を検出。
11月9日	基壇南面で東階段SX3041を検出。
11月22日	ヘリコプターによる航空写真撮影。
11月29日	ハイライダーによる全景写真撮影。
11月30日	平面図作成。
12月3日	大土坑SK3053の掘り下げ開始。大量の瓦出土。
12月13日	東北部の断割開始。
12月26日	東北部の埋め戻しと同時に西側の掘削開始。
1月10日	部員による現場検討会。
1月16日	基壇西面の地覆石SX3037および石敷SX3057検出。
1月23日	基壇南面の西階段SX3042検出。
1月24日	記者発表。
1月26日	現地説明会。見学者714名。
2月7日	ヘリコプターによる航空写真撮影。
2月8日	平面図作成。
2月14日	ハイライダーによる全景写真撮影。
2月19日	地覆石、石敷、雨落溝の石材鑑定。
2月20日	断割開始。
2月26日	石敷SX3036を検出。
3月4日	断割調査と並行し、埋め戻し開始。
3月13日	石敷SX3035の地中レーダー探査。
3月22日	埋め戻し完了。



第1図 発掘調査位置図 (1:3000)